

# 第1期 小郡寺子屋「志学舎」報告書【第14講座】

開催日 2023年1月14日（土）

- 時間 9:30～16:30
- 場所 小郡市生涯学習センター（小郡市大板井）
- 参加者

■第1期生14名（欠席者：2名）

■木村 貴志 塾長 / 森 就子（事務局） / 井上 和樹（事務局） / 西山 茂代（事務局）

- 内容 座学、硬筆書写コンテスト、箸使いコンテスト

- 9:30～11:00 席替え、少年教育10原則朗唱、世界情勢を学ぶ（新聞記事）
- 11:10～12:05 硬筆書写コンテスト
- 12:05～13:00 昼食（お弁当）
- 13:00～13:50 箸使いコンテスト
- 14:00～16:30 同志の活動から学ぶ、2023年私の10大目標、スピーチコンテストに向けて、本日の振り返り

## ■席替え、少年教育10原則朗唱

○塾生間の仲も深まってきたので、席替えを実施しました。

○少年教育10原則朗唱

<塾長より>

- ・大きい声で、元気よく朗唱すること
- ・10原則は読むだけでなく身に付ける事が大事
- ・特に読む力・書く力を子どもの時に身に付ける事がとても大事
- ・読む力のスピードが違ると、そこから吸収する情報量が大きく違ってくる。



## ■世界情勢を学ぶ（日本経済新聞 1/1～1/5）

○Next World 分断の先に

・アメリカと中国の対立、ロシアのウクライナ侵攻などの分断の嵐が世界を覆ったが、外とのつながりに豊かさを求める人々の営みは途切れない。

世界をつなぐのはイデオロギー対立を超えたフェアネス（公平さ）だ。

・第2次大戦後の冷戦期のグローバル化は東と西のイデオロギーに分断されていた。冷戦終結後のこの30年、イデオロギーに代わり経済効率の追求が最優先の基準となった。

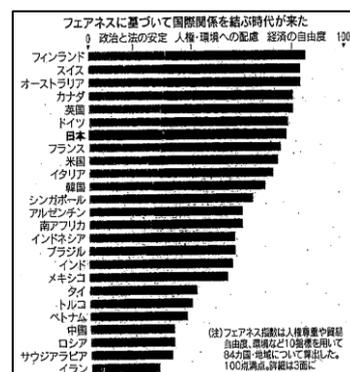
・これから始まる新たなグローバリゼーションで問われるのは、効率とフェアネスのバランス。

・欧州のエネルギーのように、フェアネスなきロシアへの依存は危険が大きい。フェアネスに軸足を置いた経済活動の再構築は始まっている。

・20世紀に入り経済が不調になると、大国間の分断や「ブロック経済圏」という名の壁を作る動きが激しくなり、2度の大战を招いた。同じ愚を繰り返さないためにはフェアネスを礎に分断をつなぐ取り組みが不可欠。

企業や個人の日々の判断が、国際ルールや人権などを尊重しない独善的な政治の暴走を抑え込む。

・相互依存は1930年代の4400倍にもなっている。フェアネスに基づくしたたかさが企業に問われる時代。国家と渡り合うには機敏な判断と実行力が必要。さもなければ、事業基盤を依存する国の言いなりに陥り、フェアネスを貫けない。



・冷戦終結後、企業はコストと効率を優先し、くもの巣のような供給網を張り巡らせた。フェアネス重視にかじを切れば一時のコストは増すだろう。それでもやらないリスクはもっと大きい。最適解を探す経営者の知恵比べが始まった。

#### ○働き手の学び 会社の未来開く

・新しいスキルや知恵を身につけて仕事を変革するリスクリング（学び直し）が企業の事業転換の起点になり始めている。（ANAやキャノン、三菱商事などの取組を紹介）

#### ○データ・AI人材 育成を

・リアルなモノづくりの製造業を第一勢力、電子商取引などのサイバー技術を中心とした勢力を第二勢力とすると、リアルとサイバーを融合した第三勢力（テスラやウーバーが典型例）が産業と社会を刷新する。

・第三勢力をつくるには、別の器をつくり、明治時代のように教えてくれる人材を海外から受け入れるしかない。やるべきことをやらず、自分が生き残ることだけを考えてきたから、日本経済は低迷している。

・空気ではなく、事実と論理で判断することがなによりも重要だ。

#### <塾長より>

- ・現場を見ている人こそ、課題がわかっているので、それを解消するためのIT力が必要。
- ・このような新聞記事に触れ、世界の変化のスピード、求められる力の変化を感じ取ることが重要。
- ・いろいろな人の意見に触れていないと、自分の考えは生まれてこない。

#### 【塾生感想】

- ・日本では周りと同じことをやっているのが普通だと思う人が多く、自分で判断できる人が少ないと感じた。
- ・算数や理科をこれから頑張っていきたいと感じた。
- ・自分の意見は周りに影響されることが多いので、気を付けようと思う。

#### ○一月の行事

・正月の由来及び正月のしきたり（門松、しめ飾り、おせち料理、鏡餅、雑煮、屠蘇、初詣、書き初め、お年玉）や、七草粥、鏡開きなどの由来について学習

#### <塾長より>

・皆さんは日本人であり、海外で活躍する場合でも日本人というベースを持っていることを自覚しておくことは重要。

#### 【塾生感想】

- ・お正月に関する由来を知ることができてよかった。
- ・お年玉が昔お餅で、今はお金になって良かったと感じた。
- ・おせちの品数が奇数であることを初めて知った。
- ・1月1日が元旦だと思っていたが、1月1日の朝だけを元旦ということにビックリした。

#### ○世界で活躍するための鍵は「自分だけの武器」（NASAジェット推進研究所エンジニア 大丸拓郎 氏）

・どうやったら海外で働けるかという質問をよくもらう。海外で働くことはあくまで手段であり、それを引き違えて目的にしてしまわないように注意したい。

・20歳の時、ニューヨークに一人旅をした。その時、自分は日本という環境に守られていただけだった、日本から一步外に出たら自分には何も残らないこと、今のままではこの広い世界で自分の居場所を日本に限定せざるを得ないという実感と、それは選択肢を極端に狭めているという事実が気につき、強い絶望を感じた。

・選択肢を日本に限定せず、自分が本当にやりたいことができるベストな環境を選べるようになるためには、語学力だけでなく、専門性、つまり自分にしかできない何か、自分だけの武器となる何かを持つことだと考えた。

- ・それは幕末から明治にかけての日本で、技術や文化の発展を加速させるために、専門分野に卓越したお雇い外国人が日本に招き入れられた。それと同じ図式が世界では成立するのではないかと考えた。
- ・専門性を獲得するためには、自分がやりたいこと、自分が勝負すると決めたフィールドを突き詰めることでしか身につけることはできない。
- ・「どうやったら世界で活躍できるか？」という質問には「勝負すると決めたフィールドを突き詰めて、自分だけの武器を身につけることが大切」だと答える。しかし、海外で働くことはあくまで手段で、その根底にある自分のやりたいことへの思いを強く持っていなければならない。

<塾長より>

- ・世界の事（世界の時事）を知ることが重要。
- ・バックボーンは日本なので、日本のことを語れることは重要

【塾生感想】

- ・自分だけの強みをこれから考えていきたい。
- ・いろんなことにチャレンジして、得意なことを見つけていきたい。
- ・これからチャレンジして自分の武器を見つけていきたい。
- ・手段と目的をはき違えないようにすることは大切だと感じた。

■硬筆書写コンテスト

○練習25分、清書25分（3枚）

○評価のポイントは以下のとおり。

1. 文字の形、バランス、大きさ、濃さ
2. 中心線が取れているか
3. 線の勢い（ゆっくり書きすぎると線の勢いがなくなる）

○審査結果

第1位： Aさん

第2位： Bさん

第3位： Cさん



■箸使いコンテスト

○黒豆5粒、小豆10粒、米粒10粒を容器から蓋に箸で掴んで移動させる。

○早く移動させた人が勝ち。但し、箸ですくうのは禁止。

○トーナメント戦で開催

<塾長より>

- ・このコンテストは箸使いをきちんとするためにしているものなので、正しい箸の持ち方を意識する。

○コンテスト結果

第1位： Dさん

第2位： Eさん

第3位： Fさん



■同志の活動から学ぶ

○九州バッカーズ冬合宿（鹿児島合宿）の様子を見る

○鹿児島合宿で書いた塾生レポート（中2女子）を読む

### 【塾生感想】

- ・レポートを6枚も書いているのに、反省や楽しかったこと、自分の感じたことなどが書いてあり、内容が深いと思った。
- ・このようなレポートは真似することができないと思った。
- ・学んできたことが分かるレポートだと感じた。
- ・楽しい事だけではなく、学習したことなども書いてあったので真似したい。
- ・とても参考になるレポートだった。

### ○東京バッカーズ研修（足立美術館）の様子を見る

#### 【塾生感想】

- ・いろいろなところに研修にいらっているんだなと思った。
- ・お昼ご飯がおいしそうだった。
- ・待ち時間にもレポートやスピーチをしている子がいた。自分もそうになりたい。
- ・足立美術館の庭園がきれいだったので、行ってみたい。
- ・長い時間を美術館で過ごしたことがないので、すごいなあと感じた。
- ・飛行機からの景色がきれいだった。
- ・研修中みんなが笑顔だったので、次の合宿もみんな笑顔になれるようにしたい。

#### <塾長より>

- ・書くことは大変だが、書けば書くほど力がつく。
- ・心で感じ取って掴んでいくことを、志学舎のみんなもやってほしい。
- ・読む力、聴く力の質を上げる必要がある。
- ・みんなと九州・東京の塾生に能力の差はさほどない。お互いに学びあうことが必要。

### ■2023年私の10大目標

#### ○2023年私の10大目標を完成させる

#### <塾長より>

- ・真剣に考えて目標を立てるのが重要。
- ・目標は具体的に書かれているか。
- ・忘れた目標は達成できない。目標は忘れないためにしょっちゅう見る事。  
(今日書いた目標は、後日縮小したものをラミネートしてみんなに渡す。)



### ■スピーチコンテストに向けて

#### ○スピーチ内容検討シートの作成

#### ○映像資料

(海外のオーディション番組：審査員になったつもりで何を言うか考えてみる)

#### <塾長より>

- ・審査後に何を語るかということ。(言葉の選び方、感情の伝え方など)
- ・心を込めて伝えるためには、言葉をたくさん持つこと、表現をたくさん身につけることが必要。
- ・自分の言葉で語るということを、しっかりやっていきましょう。

